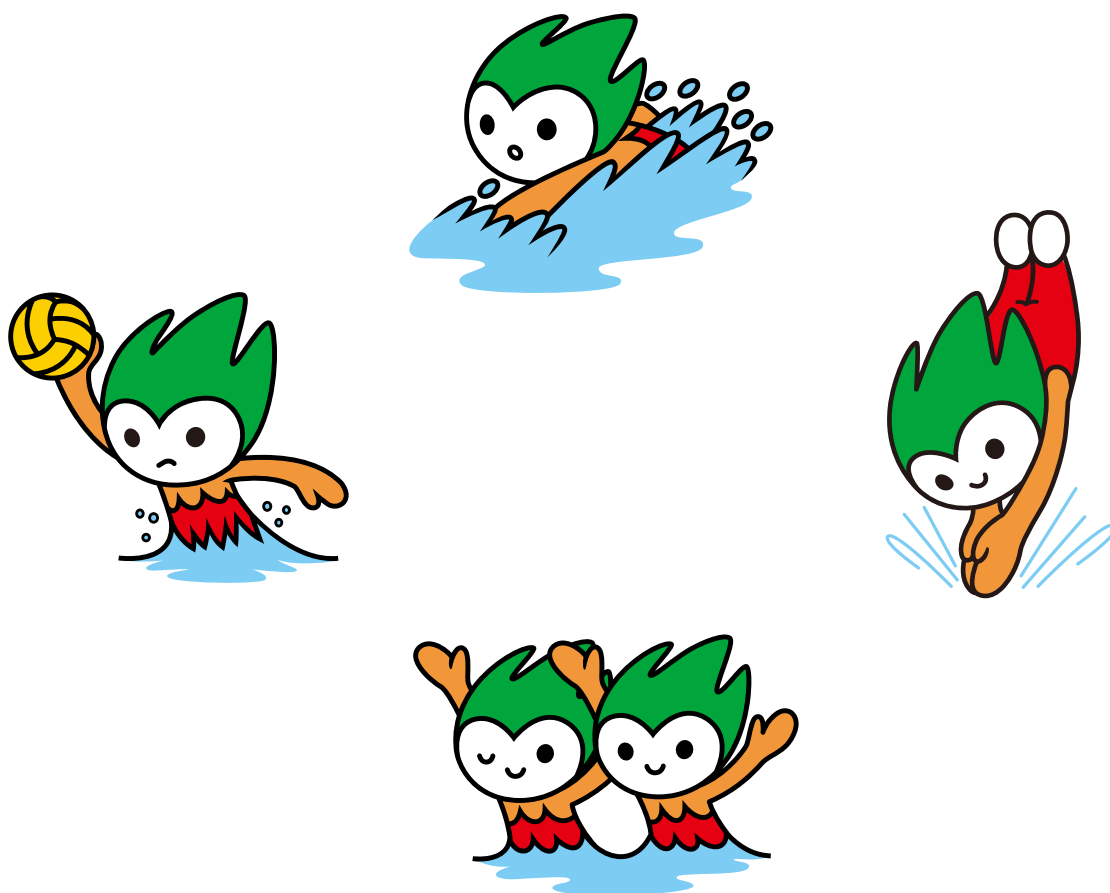


第66回国民体育大会

水泳競技実施要項



財団法人

文

山

財団法人

山

日本体育協会

文部科学省

山口県

日本水泳連盟

山口市



(日体協マーク)

3 水泳競技

1 期 日 平成 23 年 9 月 7 日 (水) から 9 月 15 日 (木) まで (9 日間)

○ 競泳日程

種 別	9 月 9 日 (金)	9 月 10 日 (土)	9 月 11 日 (日)
成年男子	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
成年女子	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少年男子A	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少年女子A	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少年男子B	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝
少年女子B	予選・決勝	予選・決勝	予選・決勝

○ 飛込日程 (○内は順序)

種 別	9 月 9 日 (金)	9 月 10 日 (土)	9 月 11 日 (日)
成年男子		③ 飛板飛込決勝	② 高飛込決勝
成年女子	③ 高飛込決勝		① 飛板飛込決勝
少年男子	② 飛板飛込決勝	② 高飛込決勝	
少年女子	① 高飛込決勝	① 飛板飛込決勝	

○ 水球日程

種 別	9 月 12 日 (月)	9 月 13 日 (火)	9 月 14 日 (水)	9 月 15 日 (木)
少年男子	ブロック別 予選トーナメント (8 試合)	準決勝リーグ (6 試合)	準決勝リーグ (6 試合)	順位決定戦 (4 試合)

○ シンクロナイズドスイミング日程

種 別	9 月 7 日 (水) 午前	9 月 7 日 (水) 午後
少年女子	テクニカルルーティン競技	フリールーティン競技

2 会 場 山口市 (競泳・水球・シンクロナイズドスイミング)
山口きらら博記念公園水泳プール
広島市 (飛 込) 広島市総合屋内プール

3 種別(種目)及び参加人員

○ 競泳

(1) 各都道府県は、監督2名、選手42名(男子選手は24名以内、女子選手は23名以内)計44名以内で編成。種別、種目及び参加数は下表のとおりとする。

ア 男子(24名以内)

種別	種目	種目数		1種目の参加数	種別などの参加数
成年	自由形 50m・100m・400m、 背泳ぎ 100m、平泳ぎ 100m、 バタフライ 100m、個人メドレー200m、 リレー200m、メドレーリレー400m	9	27	1名以内	10名以内
少年	A 自由形 50m・100m・400m、 背泳ぎ 200m、平泳ぎ 200m、 バタフライ 200m、個人メドレー400m、 リレー800m、メドレーリレー400m	9		1名以内	10名以内
	B 自由形 50m・100m・400m、 背泳ぎ 100m、平泳ぎ 100m、 バタフライ 100m、個人メドレー200m、 リレー400m、メドレーリレー400m	9		1名以内	10名以内

イ 女子(23名以内)

種別	種目	共通種目	種目数		1種目の参加数	種別などの参加数
成年	自由形 50m・100m・400m、 背泳ぎ 100m、平泳ぎ 100m、 バタフライ 100m、個人メドレー200m、 リレー200m、メドレーリレー400m	—	9	26	1名以内	10名以内
少年	A 自由形 50m・100m、 背泳ぎ 200m、平泳ぎ 200m、 バタフライ 200m、個人メドレー400m、 リレー400m、メドレーリレー400m	自由形 400m	9 (含む 自由形 400m)		1名以内	10名以内
	B 自由形 50m・100m、 背泳ぎ 100m、平泳ぎ 100m、 バタフライ 100m、個人メドレー200m、 リレー400m、メドレーリレー400m		9 (含む 自由形 400m)		1名以内	10名以内

(2) 各都道府県の参加は、前記のほか、次の出場制限によるものとする。

ア 同一人の出場は、2種目(リレーを除く)以内とする。

イ 少年Aには、中学3年生を除く少年Bの者も参加できる。その場合、少年女子の400m自由形に参加する場合を除き、全て少年Aの扱いとなる。

ウ 個人種目に出場しないリレー要員は、男女各5名・合計10名までとする。

エ 9(3)イに定める予備エントリーの総数が参加人員の定員を超えた場合は、(財)日本水泳連盟が調整を行う。

○ 飛込

(1) 各都道府県は、監督 1 名、選手 4 名、計 5 名以内で編成。種別、種目及び参加数は下表のとおりとする。

種 別	種 目	内 容	種目数	監督	選手	参加都道府県	計
成年男子	飛板飛込	自由選択飛 6 演技(各群より)	2	1	4	47	108
	高飛込	自由選択飛 6 演技(各群より)					
成年女子	飛板飛込	自由選択飛 5 演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛 5 演技(異群より)					
少年男子	飛板飛込	自由選択飛 6 演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛 6 演技(各群より)					
少年女子	飛板飛込	自由選択飛 5 演技(各群より)	2				
	高飛込	自由選択飛 5 演技(異群より)					

(2) 各都道府県の参加は各種目 1 名とする。なお、1 名は 2 種目(飛板飛込、高飛込)にエントリーすることができる。

(3) 6 (6)及び9 (3)エに定める予備エントリーに基づき、(財)日本水泳連盟が出場人数を決定する。

○ 水球

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	計
少年男子	1	11	16	192

○ シンクロナイズドスイミング

種 別	種 目	監 督	選 手	参加都道府県	計
少年女子	デュエット	1	2	20	60

4 競技上の規程及び方法

○ 競泳

(財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

○ 飛込

(財)日本水泳連盟飛込競技規則による。但し、各競技種目とも決勝のみ行う。

○ 水球

(財)日本水泳連盟水球競技規則によるもののほか、次による。

(1) 予選トーナメント

ア 予選 1 回戦は参加 16 チームのトーナメント方式により試合を行い、勝利を得た 8 チームが準決勝リーグに進出する。

イ 同点の場合は、V ゴール方式の延長戦により勝者を決定する。

(2) 準決勝リーグ

ア 8 チームを A、B、2 つのブロックに分け、4 チームずつのリーグ戦を行う。

イ 勝ち点制とし、勝者に 2 点、敗者に 0 点、引き分けは両者に 1 点ずつ与え、合計得点の多い方を上位とする。

ウ 2 チームの勝ち点が同点の場合、当該チームの対戦で勝利を収めているチームを上位とする。当該チームが引き分けている場合、及び 3 チーム以上が同じ勝ち点の場合は、以下の順序で順位を決定する。

- (ア) 準決勝リーグにおける得失点差(総得点－総失点)の多い方を上位とする。
- (イ) 得失点差が同じ場合は、総得点の多い方を上位とする。
- (ウ) 総得点と同じ場合は、抽選により上位を決定する。なお、抽選方法は、最初に予備抽選を行い、数字の若いチームより封筒を引き、○の入った封筒を引いたチームを勝者とする。
- (エ) 棄権は、相手チームの10-0の勝利とする。

(3) 順位決定戦

- ア A、B、各ブロックの同一順位チームの対戦により順位を決定する。
- イ 引き分けがあった場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(4) シード

前回の国体水球競技第1位から第4位の都道府県をシードチームとする。

(5) 試合時間

試合時間	第1ピリオド	休憩	第2ピリオド	休憩	第3ピリオド	休憩	第4ピリオド
	8分	2分	8分	5分	8分	2分	8分

○ シンクロナイズドスイミング

(財)日本水泳連盟シンクロナイズドスイミング競技規則による。

5 予選方法

○ 競泳

各都道府県は、都道府県大会を実施し、本大会代表を選考する。

○ 飛込

各都道府県は、指定競技大会の成績により、本大会代表候補選手を選考する。

○ 水球

- (1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	出場チーム	ブロック名	出場チーム
北海道 東北	2	近畿	2
		中国	1
関東	3	四国	1
北信越	1	九州	3
東海	2	開催県	1

○ シンクロナイズドスイミング

- (1) 各都道府県は、都道府県大会を実施し、ブロック大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) ブロック大会はテクニカルルーティン、フリールーティンを実施し、下表のとおり区分により代表チームを決定する。

ブロック名	出場チーム	ブロック名	出場チーム
北海道	1	近畿	3
東北	2	中国	2
関東	4		
北信越	3	九州	2
東海	2	開催県	1

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

(1) 選手は、(財)日本水泳連盟登録者であること。

なお、未登録の者が本競技会に参加するためには、国体予選出場のため当該都道府県選手として一時登録が認められた者とする。ただし、いずれも該当しない者は審査の上、決定する。

(2) 少年種別の所属

生徒(高等専門学校を含む)は学校所在地から参加し、第1学年を除き在学1年未満の者は参加できない。また種別を問わず、同一学年での参加は1回とする。

生徒以外の少年は、居住地を示す現住所の都道府県からそれぞれ参加する。

(3) 成年種別の所属

学生は卒業高校所在地(高校を卒業していない者は卒業中学校所在地)から「ふるさと選手制度」を活用し参加する。

学生以外の成年は、居住地を示す現住所、勤務地、「ふるさと」のいずれかが属する都道府県を選択することができる。

(4) 選手の年齢基準

ア 競泳の成年男子、成年女子、飛込の成年に参加する選手は、平成5年4月1日以前に生まれた者。

イ 競泳の少年Aに参加する選手は、平成5年4月2日以降、平成8年4月1日までに生まれた者。

ウ 競泳の少年Bに参加する選手は、平成7年4月2日以降、平成9年4月1日までに生まれた者。

エ 飛込の少年及びシンクロナイズドスイミングに参加する選手は、平成5年4月2日以降、平成9年4月1日までに生まれた者。

オ 水球に参加する選手は、平成5年4月2日以降、平成8年4月1日までに生まれた者。

(5) 競泳は、平成23年4月1日以降の都道府県水泳連盟(協会)が承認した、公式競技会または公認競技会において、(財)日本水泳連盟の定める標準記録を突破した者は、その種目に限り申込みができる。また、標準記録を突破できない場合でも、男女各4名・計8名までは個人種目1種目(リレーの参加は突破者と同様に扱う)に限り参加できる。

※ 開催県は前記3の人数枠内でフルエントリーすることができる。

(6) 飛込は、次の平成23年度競技会において、(財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者は、各都道府県水泳連盟(協会)において代表候補選手として選考し、(財)日本水泳連盟に予備エントリーができる。また予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与える。

1) 成年の部対象競技会

① 日本選手権 ② 室内選抜飛込競技 ③ 関東・関西選手権

2) 少年の部対象競技会

① 地域高等学校選手権 ② 全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会

予備エントリー完了後、(財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場人数を決定する。

※ 開催県は標準点突破者であれば、前記3の人数枠内でフルエントリーすることができる。

(7) 水球のブロック大会及び本大会の参加チームは、都道府県予選会終了後、都道府県体育協会が代表と認めた混成、単独いずれのチームでもよい。

(8) 監督は、(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ、公認水泳上級コーチ、公認水泳教師、公認水泳上級教師、あるいは公認水泳指導員、公認水泳上級指導員のいずれかの資格を有する者とする。

7 総合成績決定方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績(皇后杯得点)は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点の種類

ア 種別などに与える競技得点

水 球(少年男子)

シンクロナイズドスイミング(少年女子)

イ 種目などに与える競技得点

競 泳(成年男子・成年女子・少年男子・少年女子)

飛 込(成年男子・成年女子・少年男子・少年女子)

(2) 競技得点

天皇杯対象種別など		皇后杯対象種別など		競 技 得 点
競 泳	成年男子 成年女子	競 泳	成年女子	各種目(リレーを含む。)とも、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
飛 込	少年男子 少年女子	飛 込	少年女子	
水 球	少年男子	—		1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位10点、8位5点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。
ス ィ ン ク ロ ミ ナ ィ ズ グ ド	少年女子	ス ィ ン ク ロ ミ ナ ィ ズ グ ド	少年女子	1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

(3) 参加得点

大会(ブロック大会を含む。)に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

(1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に表彰状を授与する。

(2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

- (3) 各種目(競泳・飛込)及び種別(水球・シンクロナイズドスイミング)の第1位から第8位までに賞状を授与する。種別では、その都道府県名とチーム全員(監督を含む。)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と当該個人名を記載したものをチーム全員に授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定のWebページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成23年8月18日(木)までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定のWebページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 注意

ア 選手の氏名等の個人情報(財)日本水泳連盟に登録した情報と同じものであること。

イ 競泳は、8月10日(水)までに各都道府県水泳連盟(協会)より(財)日本水泳連盟へ監督および選手を予備エントリーすること。

予備エントリーの総数が参加人員の定員を超えた場合、(財)日本水泳連盟は8月12日(金)までに調整を行い、その結果を各都道府県水泳連盟(協会)に連絡する。

ウ 競泳のリレーの申込みは、4名とする。ただし、競技の際は、同じ種別内の個人種目または他のリレーに出場する者に交代することができる。

エ 飛込は、7月31日(日)までに各都道府県水泳連盟(協会)より(財)日本水泳連盟へ候補選手を予備エントリーすること。

(財)日本水泳連盟は8月7日(日)までに出場人数を決定し、その結果を各都道府県水泳連盟(協会)に通知する。

オ 飛込は、本大会で飛込演技種目申込用紙及び計算用紙(規定の用紙)に自分が行おうとする飛込演技の番号、名称、型、飛板または台の高さ、難易率を記入して、出場する当該種目の前日12時から15時までの間に、飛込プールサイドにある「飛込演技種目申込箱」に投函すること。

カ 水球の本大会への申込選手登録番号は、試合におけるメンバー表の番号と同一であること。(GKをNo.1に、またキャプテンは備考欄に「主将」と記載すること。また、控えのGKがある場合はNo.11に記載し、備考欄に「GK」と記載すること。)

キ シンクロナイズドスイミングのテクニカルルーティン用紙およびフリールーティン用紙は、参加申込(アップロード)と同時に下記②に送付する。また、ブロック大会のプログラムおよび記録は、下記①に送付する。

使用するCDまたはMDは各自持参する。それぞれの最初に録音し、都道府県名、氏名を記入する。

① 〒150-8050 東京都渋谷区神南一丁目1番1号 岸記念体育会館内
(財)日本水泳連盟

TEL 03-3481-2306 FAX 03-3481-0942

② 〒754-1192 山口県山口市秋穂東6570番地

おいでませ!山口国体山口市実行委員会事務局

TEL 083-984-8125 FAX 083-984-8066

(4) 参加申込締切り【8月18日(木)】後の選手変更は、一切認めない。ただし、疾病、傷害等特別な場合に限り、水球およびシンクロナイズドスイミングは選手の交代を認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。なお、(財)日本体育協会に対しては、下記への提出後、別途所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

水球およびシンクロナイズドスイミングの交代要員は申込み時に予備登録すること。

※ 水球は各加盟団体の定めた都道府県予選会に参加した選手であること。

ア 提出期日 監督会議まで

イ 提出先

(ア) 〒150-8050 東京都渋谷区神南一丁目1番1号 岸記念体育会館内
(財)日本水泳連盟

TEL 03-3481-2306 FAX 03-3481-0942

(イ) 〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号 県政資料館
おいでませ！山口国体・山口大会実行委員会事務局

TEL 083-933-4790 FAX 083-933-4799

(ウ) 〒754-1192 山口県山口市秋穂東6570番地
おいでませ！山口国体山口市実行委員会事務局

TEL 083-984-8125 FAX 083-984-8066

10 その他

(1) プログラム編成

(競泳) 日時 平成23年8月19日(金)～21日(日)
場所 山口市秋穂総合支所 会議室
〒754-1192 山口県山口市秋穂東6570番地
TEL 083-984-8125 FAX 083-984-8066

(飛込) 日時 平成23年8月19日(金)～21日(日)
場所 広島市総合屋内プール 会議室
〒732-0068 広島県広島市東区牛田新町一丁目8番3号
TEL 082-222-1860 FAX 082-222-1861

(2) 組合せ抽選会

(水球) 日時 平成23年8月22日(月) 午前10時
場所 岸記念体育会館 会議室
〒150-8050 東京都渋谷区神南一丁目1番1号
TEL 03-3481-2306 FAX 03-3481-0942

(3) 出場順の抽選

(シンクロナイズドスイミング)
日時 平成23年9月6日(火) 午後3時
場所 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
〒754-1277 山口県山口市阿知須509番50
TEL 0836-65-6903 FAX 0836-65-6902

(4) 監督会議

- (競 泳) 日 時 平成 23 年 9 月 8 日(木) 午後 2 時
場 所 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
〒754-1277 山口県山口市阿知須 509 番 50
TEL 0836-65-6903 FAX 0836-65-6902
- (飛 込) 日 時 平成 23 年 9 月 8 日(木) 午後 3 時
場 所 広島市東区スポーツセンター 会議室
〒732-0068 広島県広島市東区牛田新町一丁目 8 番 3 号
TEL 082-222-1860 FAX 082-222-1861
- (水 球) 日 時 平成 23 年 9 月 11 日(日) 午後 4 時 30 分
場 所 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
〒754-1277 山口県山口市阿知須 509 番 50
TEL 0836-65-6903 FAX 0836-65-6902

(シンクロナイズドスイミング)

- 日 時 平成 23 年 9 月 6 日(火) 午後 3 時
場 所 山口きらら博記念公園 多目的ドーム
〒754-1277 山口県山口市阿知須 509 番 50
TEL 0836-65-6903 FAX 0836-65-6902

(5) 総合表彰式

- 日 時 平成 23 年 9 月 15 日(木) 水球競技終了後
場 所 山口きらら博記念公園 水泳プール
〒754-1277 山口県山口市阿知須 509 番 50
TEL 0836-65-6905 FAX 0836-65-6907

(6) 練習時間については、会場地実行委員会事務局に問い合わせること。

(競泳・水球・シンクロナイズドスイミング)

- 〒754-1192 山口県山口市秋穂東 6570 番地
おいでませ！山口国体山口市実行委員会事務局
TEL 083-984-8125 FAX 083-984-8066

(飛 込)

- 〒732-0066 広島県広島市東区牛田本町三丁目 1 番 1 号 高木ビル 2 階
おいでませ！山口国体広島事務所
TEL 082-221-1181 FAX 082-221-5656

6 実施競技団体及び開催地実行委員会

実施競技団体

団 体	会 長	理事長	事務局長	事 務 局		
				〒	所 在 地	電話番号
(財)日本水泳連盟	佐野和夫	(専務理事) 泉 正文	石井雄二郎	150-8050	渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内	03-3481-2306
(財)山口県水泳連盟	松永卓	藤本尚章	柴崎嘉代子	753-0078	山口市緑町 6-13	083-932-2110

開催地実行委員会

団 体	会 長	事務局長	事 務 局		
			〒	所 在 地	電話番号
おいでませ！山口国体・ 山口大会実行委員会	二井関成	半田健二	753-8501	山口県山口市滝町 1-1	083-933-4790 (総務企画課)
おいでませ！山口国体 山口市実行委員会	渡辺純忠	兼重敏文	754-1192	山口県山口市 秋穂東 6570	083-984-8120